

事業所における自己評価結果【児童発達支援】

○調査の概要

◆調査目的

児童発達支援のサービスの質に関して、事業所職員の意見や評価を踏まえ、今後の通園センターの運営に役立てるための基礎資料とするため

◆調査期間

令和4年1月11日から令和4年3月18日

◆アンケート配布・回収状況

アンケート対象者 7名

アンケート回答者数 7名(回答率 100.0%)

○アンケート内容

◆環境・体制整備

1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか



- ・利用定員に対して指導室等のスペースを確保しています。室数に限りがあるため個別療育で同時に個室を使用する場合は、空いている通級指導教室を使用したり活動内容に合わせて部屋をパーティションで仕切る等、療育指導に支障がないようにしています

2. 職員の配置数は適切であるか



- ・基準以上の職員を配置していますが、今年度は欠員による未配置がありました。業務等を考慮しながら人員の配置と安定した体制の維持に努めています

3. 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、個々の特性に応じ、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



- ・お子さんの状態や特性に配慮してスロープや手すり等を設置しています。必要に応じて生活空間を整えたり環境設備の充実を図っています

4. 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか



- ・手洗い、消毒、換気の感染症対策の徹底と毎日の清掃や室温設定により、過ごしやすい環境と活動しやすい空間づくりをしています

◆業務改善

5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか



はい 14.3% いいえ

- ・ 毎日の打合せや定例会議、必要に応じてミーティングを開催する等、職員間で業務内容の共通理解を図りながら支援しています

6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか



はい

7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか



はい

8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

- ・ 外部評価は未実施ですが、本調査や保護者の方の意見等から業務改善につなげています

9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか



はい

◆適切な支援の提供

10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか



はい 14.3% どちらともいえない

- ・ 半年毎に個別支援計画を評価し、子どもさんと保護者の方の意向やニーズを確認して支援計画を作成しています。必要に応じて適宜見直しをします

11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか



はい 14.3% いいえ

- ・ 各種アセスメントツールを活用しながら状況を把握しています

12. 児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか



- ・ 支援が必要な項目ごとに具体的な支援内容を設定しています

13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか



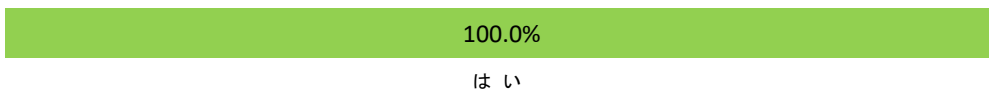
- ・ 職員が支援計画を共有して支援しています

14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか

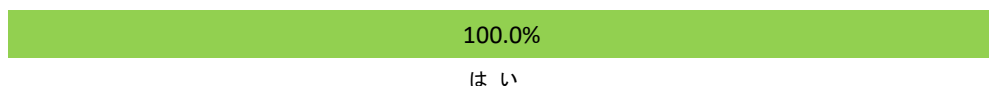


- ・ 集団療育は担当指導員が活動プログラムを立案し、指導員全員で支援内容を共有して実施しています

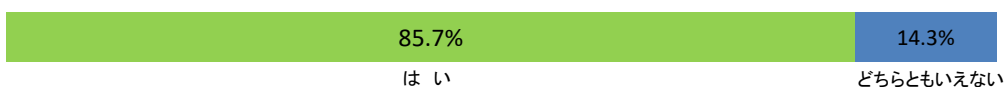
15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか



16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか



17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



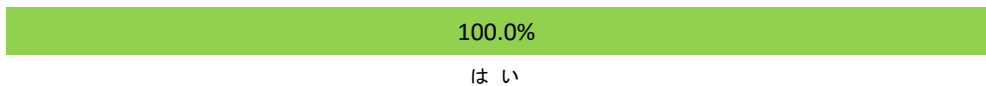
- ・ 集団で活動する場合は、担当指導員間で支援内容を共有しています

18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

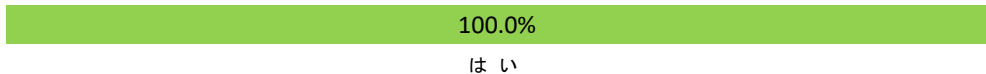


- ・ 集団で活動した場合は、担当指導員間で支援の振り返りや気付いた点を共有しています

19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか



20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか



◆関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

21. 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか



- ・児童発達支援管理責任者や担当者が出席しています

22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか



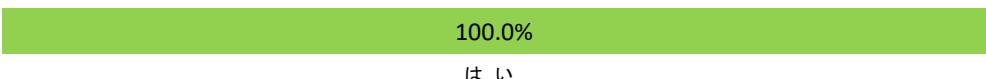
- ・各市町の保健・福祉等の関係機関の担当者と情報共有や連携をしながら支援しています

23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか

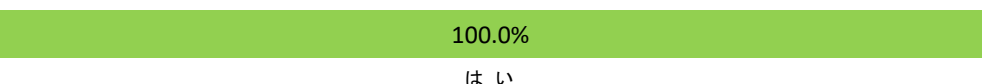


- ・関係機関と連絡を取り合う等連携しながら支援しています

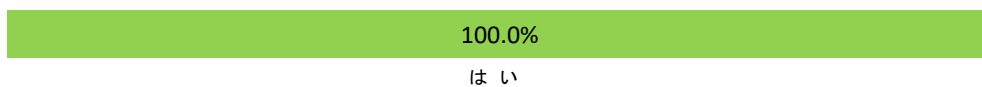
24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか



25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか



26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか



27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか



- ・ 外部の専門機関から職員を派遣していただいたり現場実習を受ける等、助言や指導を受けています

28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか

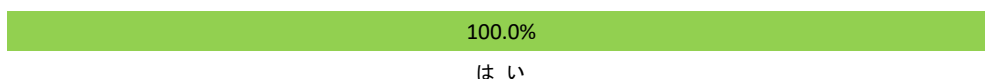
- ・ 療育の時間帯や移動距離により、他施設との交流は困難な状況にあります

29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て支援会議等へ積極的に参加しているか



- ・ 管理者が自立支援協議会の事務局として参加しています

30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



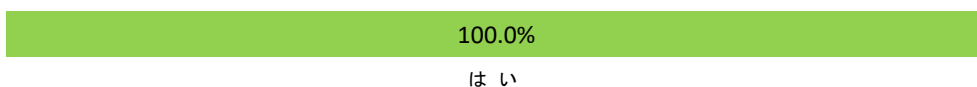
31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか



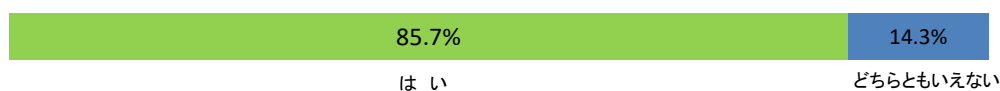
- ・ ペアレント・トレーニングは実施していませんが、北海道家族支援体制整備事業を活用してペアレントメンターの派遣を依頼し、保護者に対する支援をしています
- ・ 保護者向けの学習会を毎年実施して支援をしています

◆保護者への説明責任等

32. 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

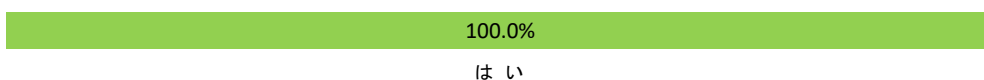


33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか

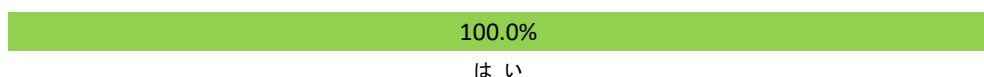


- ・ 支援計画を書面で示して支援内容を説明し、保護者の同意を得ています

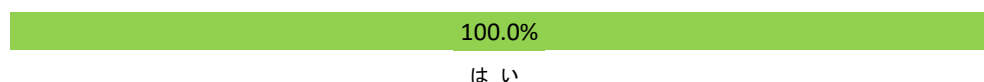
34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



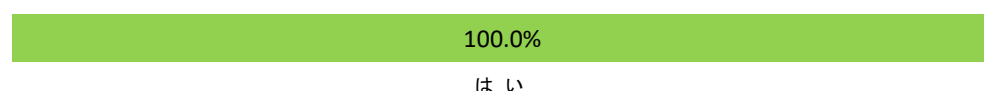
35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



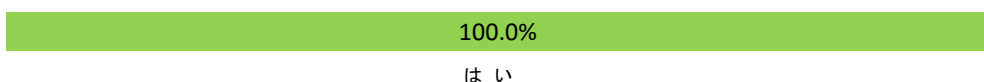
36. 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか



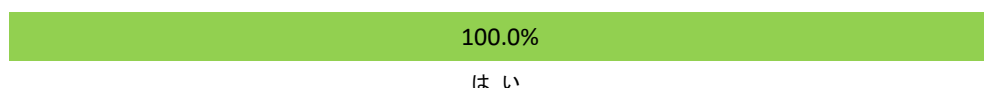
37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者向けに対して発信しているか



38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか



39. 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか



- ・ 地域住民が参加できる行事は実施していませんが、実習生や随時の見学を受入れる等地域に開かれた事業運営を図っています

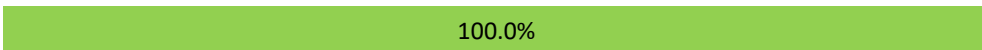
◆非常時等の対応

41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか



- ・ 各種マニュアルを作成して火災・地震・風水害の訓練を行う等、迅速に対応できるよう努めています

42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか



はい

43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか

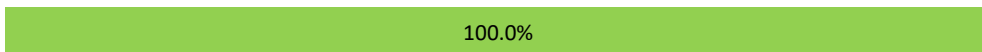


- ・ 保護者の方の情報提供により事前に状況を確認し、子どもさんの状態に留意しながら支援しています

44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

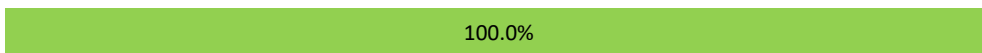
- ・ 日常的に飲食する機会はありませんが、保護者の方からの情報提供等により職員間で共有して対応します

45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



はい

46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



はい

- ・ 研修に参加する機会を確保し、職場内外研修を通して職員の理解と周知を図り、虐待防止に向けた取り組みを行っています

47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか

- ・ 対象となるお子さんはいませんが、お子さんや保護者の方の了解のもと、適時適切な対応をします